

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月7日

上場会社名 日本タングステン株式会社 上場取引所 東証二部 福証
 コード番号 6998 URL <http://www.nittan.co.jp/>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)吉田 省三
 問合せ先責任者 (役職名)総務人事部長 (氏名)増田 秀雄 TEL (092)415-5500

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	9,791	2.3	756	△19.6	803	△12.9	569	5.1
19年3月期第3四半期	9,573	3.8	941	25.4	922	36.0	541	45.3
19年3月期	12,904	4.3	1,210	8.9	1,172	20.3	701	30.3

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	22	78	22	75
19年3月期第3四半期	21	49	—	—
19年3月期	27	84	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	19,199		10,065		52.4	402	29	
19年3月期第3四半期	19,932		9,616		48.2	381	39	
19年3月期	20,218		9,815		48.5	392	52	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	526		△499		△144		1,802	
19年3月期第3四半期	309		△342		220		1,864	
19年3月期	841		△536		△66		1,919	

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,600	5.4	1,220	0.8	1,200	2.4	720	2.7	28	79

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題を発端とする世界的な株安の影響による景気減速が懸念される一方、企業の設備投資が引き続き増加基調であったことや、底堅い個人消費にも支えられ、景気は緩やかな拡大が続くなかで推移しました。

当社グループの関連する業界につきましては、電気関連製品および電子関連製品が在庫調整や市場再編の影響を受け減少しましたが、機械関連製品や産業用機器は堅調な需要に支えられ、好調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比2.3%増の97億9千1百万円となりました。

一方、損益面では、原材料価格の高騰や減価償却費の増加により、営業利益は前年同期比19.6%減の7億5千6百万円、経常利益は同12.9%減の8億3百万円となり、四半期純利益は税効果の影響等により同5.1%増の5億6千9百万円となりました。

(1) 粉末冶金事業

当社グループの主要事業であります粉末冶金事業は、電気関連製品では重電・ブレーカー用の接点製品が好調な設備投資により売上が伸張しましたが、液晶関連部材用のタングステン・モリブデン棒製品は在庫調整等の影響もあり、減少いたしました。

機械関連製品では、NTダイカッターが海外向けの売上が好調であったことや、切削工具も好調な需要に支えられ増加いたしました。

一方、電子関連製品は、HDD用磁気ヘッド基板が業界再編の影響により売上が減少したほか、超精密加工品ではデジカメ用は伸長したものの、携帯電話用が低調に推移し減少いたしました。

この結果、粉末冶金事業の売上高は、前年同期比1.3%増の91億7千5百万円となりました。

(2) 産業用機器事業

産業用機器事業は、半導体関連設備需要が伸張し、売上高は前年同期比19.3%増の5億4千6百万円となりました。

(3) その他事業

その他事業の売上高は前年同期比28.0%増の6千8百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、売上債権の減少等により、前連結会計年度末と比べ10億1千8百万円減少し、191億9千9百万円となりました。純資産は利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比べ2億4千9百万円増加し、100億6千5百万円となりました。

当第3四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1億1千7百万円減少し、18億2百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、5億2千6百万円となり、前年同期と比較して2億1千7百万円増加しました。資金が増加した主な要因は、売上債権の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、4億9千9百万円となり、前年同期と比較して1億5千7百万円の支出増となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、1億4千4百万円となり、前年同期と比較して3億6千5百万円の支出増となりました。これは主に、長期借入金による収入が減少したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、米国経済の動向、原材料価格等の懸念要因により業績が変動することも予想されますが、概ね予想の範囲内で推移しており、業績予想値の変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当する事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計算については一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当する事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前年期 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	1,864	1,802	△ 61	△3.3	1,919
2. 受取手形及び売掛金	4,803	3,897	△ 905	△18.9	4,830
3. たな卸資産	2,668	3,004	335	12.6	2,661
4. 繰延税金資産	296	176	△ 119	△40.4	336
5. その他	43	438	395	914.0	71
貸倒引当金	△ 1	△ 5	△ 4	—	△ 1
流動資産合計	9,674	9,312	△ 361	△3.7	9,817
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	5,194	4,918	△ 275	△5.3	5,116
(2) 機械装置及び運搬具	1,695	1,556	△ 139	△8.2	1,619
(3) 工具器具及び備品	149	150	0	0.5	166
(4) 土地	305	305	—	—	305
(5) 建設仮勘定	39	109	70	179.2	194
有形固定資産合計	7,384	7,040	△ 344	△4.7	7,402
2. 無形固定資産	22	16	△ 5	△25.1	20
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	2,552	2,507	△ 45	△1.8	2,695
(2) その他	377	401	24	6.4	361
貸倒引当金	△ 78	△ 78	0	—	△ 79
投資その他の資産合計	2,851	2,830	△ 20	△0.7	2,977
固定資産合計	10,257	9,887	△ 370	△3.6	10,400
資産合計	19,932	19,199	△ 732	△3.7	20,218

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	1,414	1,466	51	3.7	1,336
2. 短期借入金	2,748	2,852	103	3.8	2,719
3. 未払法人税等	220	16	△ 203	△92.6	347
4. 賞与引当金	284	230	△ 54	△19.0	586
5. 役員賞与引当金	—	20	20	—	37
6. その他	849	675	△ 174	△20.6	823
流動負債合計	5,518	5,261	△ 256	△4.7	5,850
II 固定負債					
1. 長期借入金	2,253	1,980	△ 272	△12.1	2,068
2. 退職給付引当金	943	479	△ 463	△49.1	839
3. 繰延税金負債	982	916	△ 66	△6.7	1,028
4. その他	618	495	△ 122	△19.8	616
固定負債合計	4,797	3,873	△ 923	△19.3	4,552
負債合計	10,315	9,134	△ 1,180	△11.4	10,402
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	2,509	2,509	—	—	2,509
2. 資本剰余金	2,229	2,229	—	—	2,229
3. 利益剰余金	4,589	5,131	541	11.8	4,748
4. 自己株式	△ 616	△ 691	△ 75	—	△ 689
株主資本合計	8,711	9,177	466	5.4	8,798
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	997	886	△ 110	△11.1	1,055
2. 為替換算調整勘定	△ 92	△ 7	84	—	△ 38
評価・換算差額等合計	905	878	△ 26	△2.9	1,017
III 新株予約権	—	9	9	—	—
純資産合計	9,616	10,065	448	4.7	9,815
負債純資産合計	19,932	19,199	△ 732	△3.7	20,218

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	9,573	9,791	218	2.3	12,904
II 売上原価	7,102	7,503	400	5.6	9,597
売上総利益	2,470	2,288	△ 181	△ 7.3	3,306
III 販売費及び一般管理費	1,529	1,531	2	0.2	2,096
営業利益	941	756	△ 184	△ 19.6	1,210
IV 営業外収益	206	241	34	16.5	270
V 営業外費用	225	194	△ 31	△ 13.8	308
経常利益	922	803	△ 118	△ 12.9	1,172
VI 特別利益					
貸倒引当金戻入益	6	—	△ 6	—	5
VII 特別損失					
税金等調整前 四半期(当期)純利益	928	803	△ 125	△ 13.5	1,177
法人税、住民税及び 事業税	273	112	△ 161	△ 59.0	396
法人税等調整額	113	121	8	7.3	79
四半期(当期)純利益	541	569	27	5.1	701

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	2,509	2,229	4,282	△612	8,408
当四半期中の変動額					
剰余金の配当(注)			△201		△201
役員賞与(注)			△33		△33
四半期(当期)純利益			541		541
自己株式の取得				△4	△4
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期中の変動額合計(百万円)	—	—	307	△4	302
平成18年12月31日残高(百万円)	2,509	2,229	4,589	△616	8,711

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高(百万円)	1,118	△135	983	—	9,392
当四半期中の変動額					
剰余金の配当(注)					△201
役員賞与(注)					△33
四半期(当期)純利益					541
自己株式の取得					△4
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△121	42	△78	—	△78
当四半期中の変動額合計(百万円)	△121	42	△78	—	224
平成18年12月31日残高(百万円)	997	△92	905	—	9,616

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高(百万円)	2,509	2,229	4,748	△ 689	8,798
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 187		△ 187
四半期(当期)純利益			569		569
自己株式の取得				△ 2	△ 2
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期中の変動額合計(百万円)	—	—	382	△ 2	379
平成19年12月31日残高(百万円)	2,509	2,229	5,131	△ 691	9,177

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高(百万円)	1,055	△ 38	1,017	—	9,815
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					△ 187
四半期(当期)純利益					569
自己株式の取得					△ 2
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△ 168	30	△ 138	9	△ 129
当四半期中の変動額合計(百万円)	△ 168	30	△ 138	9	249
平成19年12月31日残高(百万円)	886	△ 7	878	9	10,065

前期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	2,509	2,229	4,282	△612	8,408
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注)			△126		△126
剰余金の配当			△75		△75
役員賞与(注)			△33		△33
当期純利益			701		701
自己株式の取得				△76	△76
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	—	—	466	△76	389
平成19年3月31日残高(百万円)	2,509	2,229	4,748	△689	8,798

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高(百万円)	1,118	△135	983	—	9,392
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注)					△126
剰余金の配当					△75
役員賞与(注)					△33
当期純利益					701
自己株式の取得					△76
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	△63	96	33	—	33
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	△63	96	33	—	423
平成19年3月31日残高(百万円)	1,055	△38	1,017	—	9,815

(注)平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメントの売上高]

(単位：百万円、%)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減	増減率
粉末冶金事業	9,060	9,175	115	1.3
産業用機器事業	458	546	88	19.3
その他事業	53	68	15	28.0
合 計	9,573	9,791	218	2.3